１１課「私の生活」

＜行動目標＞
自分の生活や身近な話題について友達や周りの人と話すことができる。

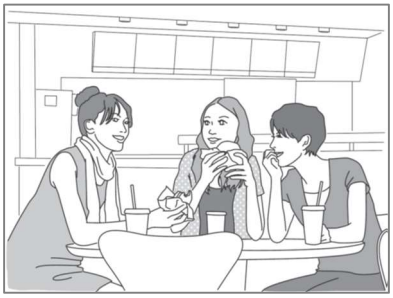
＜3 つのスモールトピック＞
ＳＴ１「今の生活」
今の生活について話したり質問したりすることができる。
ＳＴ２「今の私・前の私」
今までの自分のことについて簡単に話したり相手に質問したりすることができる。
ＳＴ３「友達と」
友達と「友達言葉」を使って話すことができる。

話してみよう

『できる日本語　初級』もいよいよ後半に入ってきました。日本での学習者の生活の中では周りの人たちとも少しずつ関係ができてきたことと思います。１１課のテーマは「私の生活」です。

【話してみよう】では、イラストや写真を見ながら、これから始まる課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。１１課のテーマ「私の生活」から、学習者の生活を聞ききながら、【聞いてみよう】につなげていくこともできます。『できる日本語教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM』の p. 71 に質問例があるので、その質問を参考にしてみてください。

ここでは、右のイラストを使ったやり取りを見ていきます。



Ｔ　：ここはどこですか。
Ｌ１：マック！
Ｔ　：そうですね。皆さんもよくマックへ行きますか。
Ｌ２：はい、行きます。Ｌ３さんと一緒によく行きます。
Ｌ３：はい。昨日、行きました。
Ｔ　：昨日？へえ。そうですか。マックで何を話しますか。
Ｌ３：アルバイトの話や日本語の勉強の話…話します。
Ｌ４：学校の話。
Ｌ１：国の話をします。
Ｔ　：そうですか。
Ｌ３：アルバイトありません。マックで長い時間、友達と話します。
Ｔ　：いいですね。Ｌ４さんはどうですか。

Ｌ４：うーん、私は図書館へ行きます。
Ｔ　：いいですね。
Ｌ４：図書館で宿題をします。
Ｔ　：そうですか。図書館は静かですから、勉強することができますね。
皆さん、いろいろな日本の生活がありますね。ＣＤを聞きましょう。

１１課の【話してみよう】のイラストをきっかけにして、学習者の話を聞いてみてください。やり取りの中から学習者自身の話がいろいろ出てきます。【話してみよう】のねらいは、テーマに学習者を引き付けることと、それまでに学んだ日本語を用いて話すことにあります。教師は学習者が話せるように促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。

聞いてみよう

【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。ＣＤを聞くときには、学習者に聞くことに集中してもらいましょう。１１課の【聞いてみよう】はいろいろな効果音（がやがやしているお店の音、乾杯の音など）が入っているので、学習者はこの音を頼りに、今、どんなシーンなのかがつかめると思います。ＣＤを聞いたあとで、大体の流れをつかみ、ST1 に入っていってください。

ＳＴ１　今の生活

できること：今の生活について話したり質問したりすることができる。

チャレンジ！

状況イラスト：パクさんたちは、今日、交流会で知り合った木村さんや西川さんたちと一緒に居酒屋に来ました。

1

コマイラスト：西川さんがパクさんに日本の生活について聞いています。パクさんは日本語の勉強のことを西川さんに話しています。

すでに何度か書きましたが、【チャレンジ】をするときには、教師がコマイラストの中を指さししながら進めていくと、学習者も話しやすいと思います。ここでは、西川さんの頭の上にある吹き出し→パクさんの顔の下に描かれている線（うなづいている様子を表している）→再び西川さんの頭の上にある吹き出し…というように指していくと、学習者も話しやすくなって、【チャレンジ】がしやすくなると思います。

パクさんの吹き出しにある二つのイラストは、学校での勉強の内容を表しています。ここでは、パクさんが「会話」は好き、でも、「作文」は苦手だと二つの事柄を対比させていることに、注目するようにしてください。

学習項目　～は～が、～は（対比）

言ってみよう　別冊1

ここでのキューは少し長いキューもあるので、学習者に合わせて練習の仕方を工夫してみてください。例えば、文字とイラストを組み合わせてみるなどして、それを見ながら、口頭練習をするなどが考えられます。

助詞によっては、そのまま「は」に接続するものもあります。「が」、「を」は「は」に、それ以外の助詞は「＋は」になることを確認して、注意するように伝えます。

「～は好きですが、～～～」などは、自分のことでも文を作る練習をしてください。

言ってみよう　本冊1

日本の生活について、チャレンジでは「日本語の勉強」についてだけでしたが、その続きとして、「一人暮らし」「出かけて行ったところ」「アルバイト」などいろいろな話題がでてきています。ここでは ☺マークがあります。ぜひ学習者自身のことも話してもらってください。

②は「近いところへは行きましたが、遠いところへはまだ行っていません」となります。「まだ～ていません」は 10 課で学習したばかりの学習項目です。「できる日本語」では繰り返し、学習した項目を復習のためにも言ってみようの中に入れてあります。新しい項目の練習はもちろんですが、学習したばかりの項目も定着していない学習者もいるかもしれません。再度おさえることができたら、定着につながるということを先生方に心がけていただきたいです。

チャレンジ！

2

コマイラスト : 西川さんがパクさんに学校の様子を聞いています。パクさんは自分の生活について話しています。

【チャレンジ！】2のやり取りは1の続きです。2の【チャレンジ！】は、1から続けてしてください。西川さんがパクさんの学校生活に興味を持って、いろいろ質問をしているというのがよくわかると思います。

ここの学習項目は「習慣」の「～ています」です。学習者が「午後何をしますか」とチャレンジしたら、こちらから「いつも」（第 9 課 ST1 新出語彙）を出すなどして、CD を聞く前に、これから学習する項目の意味にできるだけ学習者をひきつけておきます。

学習項目　Ｖています(習慣)

言ってみよう　別冊2

④、⑤のキューにある「1 週間に 3 回」「1 か月に 2 回」は 9 課ＳＴ１4で既出です。「日記」「散歩します」「～に通います」「たいてい」は新出語彙です。これらの新出語彙

や習ったばかりの語彙は外さないように、口頭練習の中に入れてください。それ以外は、別冊の例文そのままでなくても問題ありません。学習者のレベルや生活習慣などに合わせて、口頭でのキューを教師が出して、学習者が文にする練習や、⑦⑧のように一部キューを出して、学習者が自分で文を考えて答える練習などいろいろ工夫してみてください。

言ってみよう　本冊2

例では、「(学校は)1 時に終わります」となっていますが、ここはぜひ、学習者の状況に合わせて、時間を変えて会話練習するように促してください。また、B が学生ではない場合、「仕事は何時に終わりますか」と、相手に合わせた質問にした練習ができるといいと思います。

チャレンジ！

3

コマイラスト：交流会で友達になった木村さんがパクさんに休みの過ごし方を尋ねています。パクさんは自分の休みの日の過ごし方について答えています。

コマイラストの中にあるパクさんの吹き出しの中には、3 つの動作(音楽を聴く、本を読む、テレビを見る)が描かれています。いろいろなことをしていること、実際にはこの 3 つ以外にもいろいろしているということにまず注目してもらって、そのうちの 2 つ、「音楽を聞く」と「テレビを見る」を特に取り上げて話していることを確認してから CD を聞いてください。「～たり～たり」は、取り上げていないけれども、実際には他にもいろいろな動作を行っていることがあるときに使うものだとわかると思います。

コマイラストの中にある「本を読む」のイラストが薄い色で描かれているのは、取り上げて言わないけど、他にもいろいろやっているということを表しています。

学習項目　V たり V たりします

言ってみよう　別冊3

ここでは動詞のタ形が初出です。日本語の動詞の変化の多さに慣れない学習者もいると

思います。タ形の変化はテ形(７課ＳＴ２で提出済み)と同じ（「て」を「た」に変えるだけ）と言ってあげると、学習者の心理的負担も少なくなるでしょう。練習１はタ形の練習、練習２はイラストを見てする単文での練習です。イラストを見て言う練習がスムーズにいかない場合には、その前に、文字でのキューを示し、それを見ながら口を動かす練習を入れてもいいと思います。練習３では、「ＶたりＶたりします」の「します」の部分を変える練習です。「～たり～たり」の後ろに「します」「しました」「したいです」「してください」「しています」「してもいいです」などが続くことを板書するなどして、しっかり伝えてください。

言ってみよう　本冊3

例１）と例２）の違いによく注意してください。9 課で学習した順次動作の「～て～て」とここでの学習項目「～たり～たり」の意味の違いをしっかりと理解して使えるようになってほしいと思っています。③④は例２）と同じパターンです。１つ目の行動が終わってから、次にする行動が並列されています。例２）は公園へ行って、公園でする動作が複数あるということ、③は図書館へ行って、図書館でする動作が複数あるということ、④は友達に会うという動作のあとで、友達とする複数の動作を話しています。ここも☺マークがあるので、学習者がどんな休みの日を過ごしているのか、聞いてみましょう。

「散歩します」は「(場所) を」と一緒に使う動詞だということに注意してください。（この「を」は 10 課 ST１4の学習項目です)「散歩します」は別冊２で初出の語彙ですが、「公園を散歩します」のように場所と一緒に使うのはここが初めてです。

チャレンジ！

4

コマイラスト : 木村さんがダニエルさんに休みの日の過ごし方を聞いています。ダニエルさんは天気がいいとき、サッカーをすると答えています。

【チャレンジ！】の際、まず、ダニエルさんの吹き出しの上のイラスト（太陽）を指して、それから、その下に書かれているサッカーのイラストを指してください。

学習者は、「天気がいい日、サッカーをします」と言うと思います。学習者は学習した項目を使って言えているので、これでチャレンジは成功ですが、「いつサッカーをします」

などのように、教師が「サッカーをするのがいつなのか、どんなときなのか」に注目をするように促してから CD を聞くといいと思います。

学習項目 ～とき、Ｖます

言ってみよう　別冊4

練習１は「形容詞／名詞とき、Ｖます」、練習２は「動詞辞書形とき、Ｖます」、練習３は「動詞タ形とき、Ｖます」です。

「～とき」の接続は、「普通形＋とき」として紹介されることが多いですが、巻末のポイント一覧にもあるように、ここでは１つずつ「N のとき」「イ A とき」「ナ A なとき」のように品詞ごとに確認、練習していきます。

練習 2 と練習 3 はどちらも動詞に接続する練習です。練習 2「動詞の辞書形＋とき」、練習３「動詞のタ形＋とき」と分かれていますので、意味の違いをおさえてください。

「とき」の前の動作が、今していることと、これからすることのときは「辞書形＋とき」（練習 2）となります。例えば、「料理を作るとき、本を見ます」や「アルバイトを休むとき、店長に電話をします」です。「家へ帰ったとき、手を洗います」や「消しゴムを忘れたとき、友達に借ります」の「タ形＋とき」（練習３）は、終わったこと過ぎたこと、すでに起きたことを表している「とき」の意味になります。

言ってみよう　本冊4

【言ってみよう】の中にある☺ マークは、確実に学習者誰にでも当てはまるものだけにつけてあります。ここではこのマークがありませんが（アルバイトをしていない人もいるので）、クラスの状況によっては学習者のことで話してもらうといいと思います。

3 でも休みの日に何をするかという話をしていますが、「天気のいいとき、洗濯します」「暇なとき、寝ます」「アルバイトがないとき、日本語を勉強します」など、いろいろな答えが出てくると思います。

チャレンジ！

5

コマイラスト：日本で生活している学習者たちは交流会で、よく生活上の悩みなどを相談しているようです。ここでは、パクさんが、木村さんに最近眠れないことを相談して、何かいい方法がないかを聞いています。

　ここでは、「何をしますか」ではなく、「どうしますか」を使ってほしいところです。下記のようなやり取りを通して、「何をしますか」ではないことを学習者に気がついてもらえるようにしてください。ここでの【チャレンジ！】のやり取りを再現してみました。

Ｔ：（パクさんを指して）
Ｌ：最近、寝ることができません。
Ｔ：そうですね。（パクさんの顔を指して）パクさん、どんな気持ちですか。
Ｌ：大変です。
Ｔ：（？を指して）
Ｌ：何をしますか。
Ｔ：（もう一度パクさんの）◯を指して）
Ｌ：寝ることができ‥できないとき、何をしますか。
Ｔ：（木村さんの吹き出しを指して）
Ｌ：温かい牛乳を飲みます。
Ｔ：そうですね。じゃ、パクさんは寝ることができないとき
　（もう一度パクさんの表情を指して）、何をしますか、よくわかりますか。
Ｌ：わかりません。
Ｔ：そうですね。全然わかりませんから、木村さんに話しています。
　　じゃ、ＣＤを聞きましょう。

学習項目　どうしますか

言ってみよう　本冊5

ここには、☺ マークがあります。きっと、学習者からいろいろな対処法や答えが聞ける

と思います。国の習慣や世代などによっても違うものが出てきておもしろいです。

やってみよう

ここでは２つの会話を聞きます。１は、アンナさんとナタポンさんの会話、２は西川さんとワンさんの会話です。聞いたあとで、ＣＤの内容について、ざっと確認をしてください。その際、答えだけを確認するのではなく、会話の流れがどうだったか、どんな日本語を使っていたかにも注目をしてください。１では、ナタポンさんがタイ料理を作るというのを聞いたアンナさんが「私も作りたいです。今度、作り方を教えてください」と言っています。以前、習った学習項目が思い出せるように、教師から引き出せるといいと思います。

また、会話の中でどんな質問がされていたかにも注目すると、■で実際に学習者同士が話すときに、やり取りがしやすくなります。

■ 毎日教室で顔を合わせていても、クラスメイトの普段の生活の様子を知らなかったりすることもあるようです。ペアやグループになって、お互いに暇なときや休みの日の過ごし方などを話します。相手の話に興味を持ち、質問をたくさんすることで、会話が長く続きます。会話のキャッチボールが続くように、適切な質問をたくさんするように、促してください。

会話をするとき、ただ質問をするだけではなく、「へえ」「そうですか」「それから？」といった、フィラーや接続詞が使えると、やり取りが自然になりますね。フィラーがない会話だと、こちらから「警察と話していますか？？」などと聞いたりしています（笑）

こんなふうに

グループで話すとき、下のようなシートがあると、自分で何を話すか、相手の話の内容をメモしたりすることができて、話しやすくなると思います。

第 11 課ＳＴ１【やってみよう】

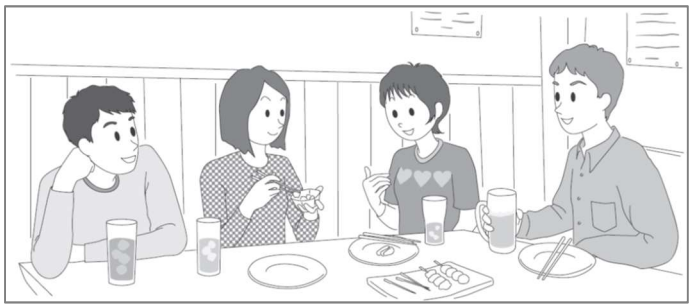
	暇(ひま)なとき	休みの日		
私				
さん				
さん				
さん				

ＳＴ２　今の私・前の私

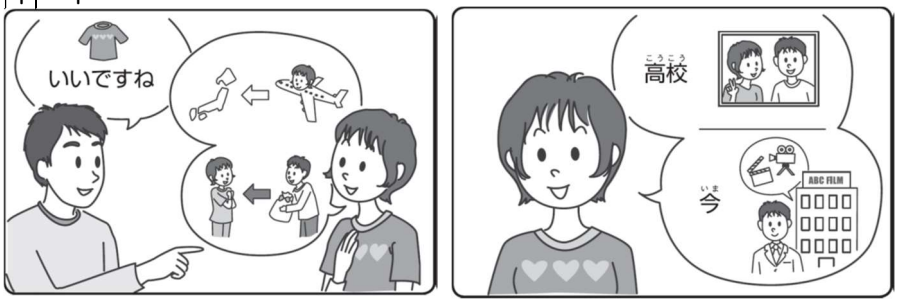
できること：今までの自分のことについて簡単に話したり相手に質問したりすることができる。

チャレンジ！

状況イラスト：
パクさん、ダニエルさんは
交流会で知り合った西川さん、
木村さんと一緒に居酒屋で
話しています。



1 - 1



コマイラスト：　西川さんがパクさんが着ているＴシャツを見て、褒めました。パクさんは自分が着ているＴシャツについて話しています。

会話のきっかけとして、目に入ったもの（５課 ST3 2）や相手の持ち物や服装（８課 ST３ 2）などから話を始めることがあるのではないでしょうか。

ここでは、西川さんがパクさんの着ている T シャツを見て話が始まっています。パクさんは西川さんの質問をきっかけに、高校時代の友達を紹介しています。誰かと知り合い、自分のことを知ってもらうときに、自分の周りにどんな人がいるかということも話題になることがあると思います。

これまでにも何度か書きましたが、コマイラストは「文型導入イラスト」ではないので、【チャレンジ！】の際には、1 コマ目に続けて 2 コマ目も必ずしてください。2 コマ目では、西川さんの質問をきっかけにして、パクさんが国の友達を紹介しています。これまでは「高校のクラスメイト」としか言えなかったのですが、ここでは ST１で「とき」を学習したので、「高校のときのクラスメイトです」とよりよく発話できるようになっています。またパクさんが友達の仕事について紹介している「友達は今、映画の会社で働いています」の「～ています」は８課ＳＴ１に提出されていた学習項目です。教師は学習者がどこでどの項目を学習しているか把握しておくと、チャレンジのイラストを使って、よりよく学習者に復習や

確認のポイントを促すことができます。

ここの学習項目は「～とき、Ｖました」です。パクさんがＴシャツをもらったのが過去であることに注目するようにしてください。ＳＴ1 で「～とき、Ｖます」が既習なので、ここでは、パクさんがＴシャツをもらったのが過去のことであることに注目するようにしてください。

学習項目　～とき、Ｖました

言ってみよう　別冊1

「とき」の接続については ST1 で、すでに学習しましたが、再度ここでもしっかりおさえておくといいと思います。「高校を卒業するとき、父に時計をもらいました」と「高校を卒業したとき、父に時計をもらいました」などは、時間軸を→と入学日を板書して、時計をもらったのが、入学した日の前なのか後なのかを確認してください。他にも、「イタリアへ旅行に行くとき、かばん（スーツケース）を買いました」と「イタリアへ旅行に行ったとき、かばんを買いました」を２文出して、かばんを買った場所がどこかを確認するとさらに理解が深まると思います。

ここでは、自分のことを言う練習はありませんが、練習をしながら、「〇〇さん、子どものとき、何が好きでしたか」というように問いかけ、ぜひ学習者自身のことでも発話してもらってください。

こんなふうに

「辞書形とき、～」
「タ形とき、～」の確認で、右のようなプリントで学習者と一緒に確認することをしてみました。

1　（　　）に動詞を書いてください。

〔食べます〕

① ご飯を（　　）とき、「いただきます」と言います。

② ご飯を（　　）とき、「ごちそうさま」と言います。

〔帰ります〕

③ 国へ（　　）とき、家族に日本のお土産を買いました。

④ 国へ（　　）とき、家族に日本のお土産をあげました。

〔行きます〕

⑤ 病院へ（　　）とき、健康保険証を忘れないでください。

⑥ 病院へ（　　）とき、病院で薬をもらいました。

2　「～るとき」ですか「～たとき」ですか。

① 消しゴムを（忘れます→　　）とき、クラスメイトに借ります。

② アルバイトに（行きます→　　）とき、駅で友達に会いました。

③ パスポートを（なくします→　　）とき、大使館に電話をかけます。

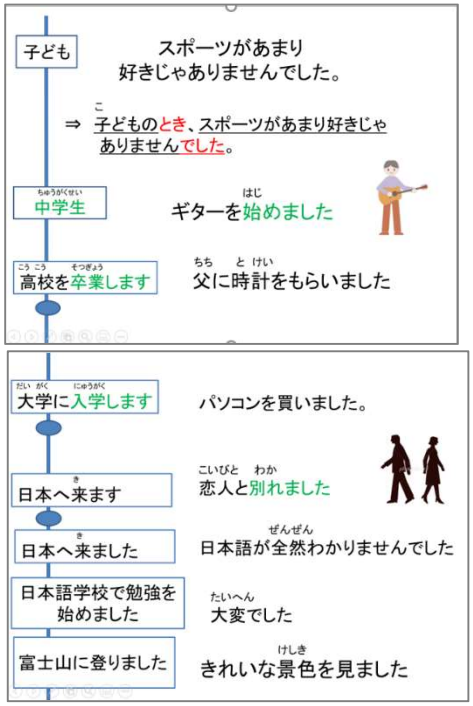
④ 夜、（寝ます→　　）とき、「おやすみなさい」と言います。

⑤ 朝、友達に（会います→　　）とき、「おはよう」と言います。

こんなふうに

別冊の練習では、単文レベルの練習をするところですが、別冊のキューを見ているうちに、これを時間の流れがわかるような見せ方にしたらどうかと思い、右のような流れを作って練習をしてみました。

こういった場合は、教室で ppt を用いて練習するのも良い方法です。ppt のアニメーション機能を用いると、キューが少しずつ、大きく見せられることがメリットです。です。もちろん、紙にキューを書いて、教室で見せるという方法も同じ練習になると思います。口の練習をしながら、学習者が自分のライフストーリーもイメージしながら、練習ができるといいと思います。



言ってみよう　本冊1-1

「とき」の前を、辞書形にするのかタ形にするのか、そして、その意味は何かをしっかり確認してください。①は「イタリアへ行ったとき、買いました」、②は「コンサートへ行ったとき、買いました」のように、意味を考えると、答えは「タ形＋とき」しかありません。③と④は「入学したとき、祖父にもらいました」でも「入学するとき、祖父にもらいました」のように、辞書形でもタ形でもどちらを使うことも可能です。ただ、そのことが起きた（「もらった」）のがいつなのかが、しっかりわかって発話できているかどうか、確認が必要です。

こんなふうに

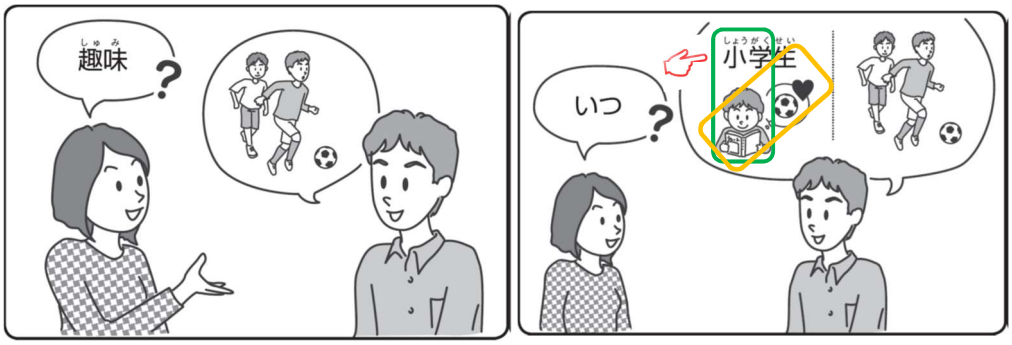
本冊の練習が終わったあと、もう少し練習をしたい…でも、どうやろうか…ここでは、友達から褒められた物について、誰がくれたのかを答えているので、自分の物を使って練習するというのは不自然だ…と思い、こんな方法でもう少し練習を増やしてみました。

教科書にあるイラストから、キューとなっている品物を下記のようにプリントアウトして、Bに渡します。Aはその物を見ながら、「その～、いいですね」と会話を始めるというようにしたら、相手から自分の物を褒められているというシチュエーションが作れると思います。

Bに渡すカード

チャレンジ！

1-2



コマイラスト：木村さんとダニエルさんが、趣味とその趣味を始めた、または好きになったきっかけについて話しています。ダニエルさんはサッカーが好きになったきっかけを話しています。

「始めます」は初出の語彙です。1 コマ目でダニエルさんの趣味がサッカーだと知った木村さんが、今度は「いつ？」と聞いているので、こんなときには、どんなことを聞くかを学習者と一緒に考えてみてください。ダニエルさんの吹き出しに書かれている「小学生」をヒントにしたら、ああ、ここではいつから始めたのかを聞いているのかということがわかると思います。次に、「小学生」の文字とイラストの漫画を読んでいる部分を指差します（緑の□の部分）。それから、漫画を読んでいる部分とサッカーボールのところを指差します（黄色の□の部分）。ここでは、台詞が少し長いので、何を言ったらいいのかわからない学習者もいるかもしれませんが、このように、教師がイラストの中を整理するように指差していったら、発話する順番や内容などがわかりやすくなると思います。

学習項目　～とき、Vました

言ってみよう　本冊 1-2

例を見ると、B の発話が 3 文あります。ここは長くて難しいのではないかと教師は思ってしまうかもしれませんが、一つずつ確認していけば、決して難しいことは言っていないの

で、学習者は意外とがんばって発話してくれます。言えたときは、学習者は長い文が発話できた達成感を感じているようです。「それで」を使って、自分の話をまとめて終わらせる方法も段落で話す練習の第一歩としてしっかり練習してほしいです。

この例の会話は、ＡがＢの趣味は「水泳」だとわかった続きから、始まっています。なので、1－２の例のやり取りを記すと、

Ａ：Ｂさんの趣味は何ですか。
Ｂ：水泳です。
Ａ：へえ。いつ水泳を始めましたか。
Ｂ：～～
という流れで会話が展開されています。

ここで、学習者にそれぞれの趣味を始めたきっかけなどを話してもらう際には、Ａの質問がいつも「いつ〇〇を始めましたか」が使えるとは限らないことがあることに注意してください。「どうして〇〇が好きになりましたか」という質問もあることや、「それで」を用いる位置も同じではないことを紹介できたらいいと思います。

例えば、教室では以下のようなやり取りが見られました。

A：B さんの趣味は何ですか。
B：料理を作ることです。
A：どうして料理が好きになりましたか。
B：中学生のとき、レストランのドラマを見ました。料理人はいろいろな料理を作ることができました。とてもかっこよかったですから、私も作りたいと思いました。それで、料理が好きになりました。

やってみよう

ＣＤを聞く前に、ａ～ｄの写真を学習者とどんな写真かを一緒に見てみるといいと思います。タスクの答えは、スクリプト中にある「ピアノ」「テニス」「京都」といった言葉からすぐに選ぶことができると思います。ここでは、書き取りのタスクもあります。これ以外にも、子どものときに始めた習い事を続けているか、一緒に旅行に行った友達が今、何をしているか、メアリーさんがどのように答えていたかを確認してみてください。（２）での「だんだん」は初出の語彙です。

■　今までの人生を振り返って、エピソードを紹介します。

しかし、いきなり「エピソードを紹介しましょう」といっても、自分のこれまでどんなことがあったかを振り返る時間も必要です。少し時間を取って、小学生、中学生、高校生のときに何をしたか、どうだったかなどをクラス全体で話してから、年表を書いてもらうといいです。

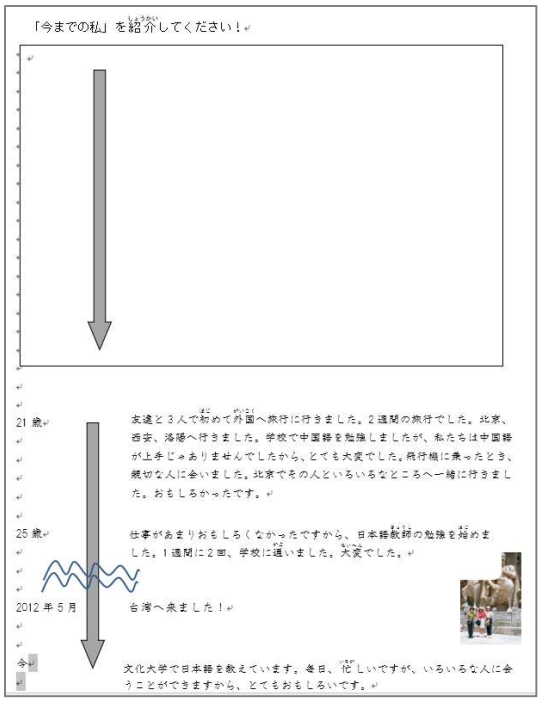
こんなふうに１

エピソードを話す前に、学習者が（どんなことがあったかな‥）と一人で考える時間があるといいです。その際に思いついたことを、文でなくても年表にメモ程度に書いてもらいます。グループでのやり取りを通して、少しずつ情報が詳しくなっていきます。

こんなふうに２

授業では、まず、教師の「今までの私」について、写真を用いながら紹介をしました。

それから、右のようなワークシートを渡して、自分が紹介したい「今までの私」を考えてきてほしいと宿題にしました。次回の授業の際に、グループで、クラスメイトに紹介したいときの話を紹介するようにしました。その後で、もう少し書き足したいところは書き足してから、教師に提出するようにしました。


「今までの私」を紹介してください！

21 歳　友達と 3 人で初めて外国へ旅行に行きました。2 週間の旅行でした。北京、西安、洛陽へ行きました。学校で中国語を勉強しましたが、私たちは中国語が上手じゃありませんでしたから、とても大変でした。飛行機に乗ったとき、親切な人に会いました。北京でその人といろいろなところへ一緒に行きました。おもしろかったです。

25 歳　仕事があまりおもしろくなかったですから、日本語教師の勉強を始めました。1 週間に 2 回、学校に通いました。大変でした。

2012 年 5 月　台湾へ来ました！

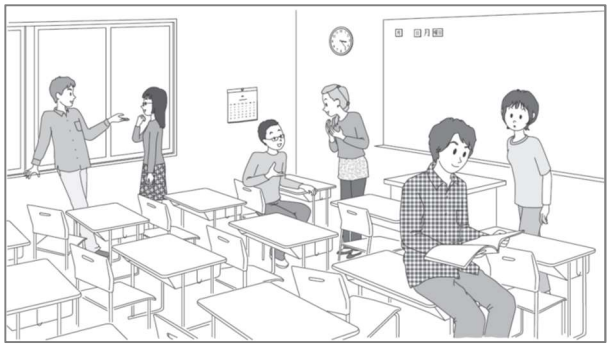
今　文化大学で日本語を教えています。毎日、忙しいですが、いろいろな人に会うことができますから、とてもおもしろいです。

ＳＴ３　友達と

できること：友達と「友達言葉」を使って話すことができる。

チャレンジ！

状況イラスト：授業前の教室で
クラスメイトとおしゃべりをしています。



1 - 1

コマイラスト：ダニエルさんはマリヤムさんによく映画を見るかと聞いています。

ここでの【チャレンジ！】は学習者にとって、楽々できる（！）と思います。CD を聞く前に、ダニエルさんとマリヤムさんの二人はクラスメイトであること（もうわかっていることとは思いますが）について、もう一度、触れてください。それがポイントになるからです。CD を聞いたとき、チャレンジで楽々と発話したことを友達言葉で言うとこう言うのだということがわかると思います。ドラマで見たり、身の回りでよく聞いたりする日本語だ！と気づく学習者もいるでしょう。

学習項目　友達言葉

言ってみよう　別冊 1 - 1

このＳＴ3 では、友達言葉を練習していきます。さまざまな変形が出てくるので、学習者にとっては負担が大きくならないように、小さいステップを踏んで練習をこなしていったらいいと思います。

1－１は動詞の現在の肯定と否定の友達言葉を練習します。「～ます」は辞書形（9 課ＳＴ1 1 で既習）、「～ません」はナイ形ナイ形（10 課ＳＴ2 2 で既習）になるということがしっかりおさえられたら、あとは、辞書形とナイ形の復習をして、単文の口頭練習につなげられたらいいですね。

こんなふうに 1

学習者の整理になるように、このようなプリントを見ながら、練習をしてみました。

1－1　動詞（現在）

【～です・～ます】

A：Bさんはよく映画を見ますか。
B：はい、見ます。
C：いいえ、見ません。

★【友達言葉】

A：Bさんはよく映画（を）見る？
B：うん、見る。
C：ううん、見ない。

～ます	⇒辞書形	～ません	⇒ナイ形
食べます	食べる	食べません	食べない
見ます		見ません	
します		しません	
来ます		来ません	
買います		買いません	
聞きます		聞きません	
話します		話しません	
あります		ありません	ない

例）毎日、ジョギングを（します→　する　）。
① 毎朝、牛乳を（飲みます→　　）。
② ときどきケーキを（作ります→　　）。
③ 午後、図書館へ（行きます→　　）。
④ 今日、お金が（ありません→　　）。

例）A：毎日、新聞を（読みますか→　読む　）？　B：うん、（　　）。
① A：いつも、何時に（起きますか→　　）？　B：7時に（　　）。
② A：今日、Cさんは（来ますか→　　）？　B：ううん、（　　）。

こんなふうに 2

練習の際には、教師がキューを言って、学習者が答えるというスタイルが多いと思いますが、それだと学習者が待っている時間があって、なんとかできないか…と思い、ペアの練習にしてみました。これは、2 人のペアになって、一人が文を読み上げ、もう一人は聞いた文の文末を変えるという練習です。シートは 2 枚用意しておき、A が終わったら、違う文で B も読み上げていきます。正しいかどうかを 2 人でチェックします。もちろん、教師はこの練習の間、教室をぐるぐる回って、耳を「澄ませて」ください。

A

① 毎日、コンビニでコーヒーを買います。
② 週末、友達と映画を見ます。
③ 来週、日本語の授業がありません。
④ 夜、友達に電話をかけます。
⑤ 日曜日、どこへも行きません。
⑥ 来週、友達と山へ登りに行きます。
⑦ 木村さんはたばこを吸います。
⑧ ときどき料理を作ります。

B

① 週末、プールで泳ぎます。
② 朝ごはんを食べません。
③ 私は日本語が少しわかります。
④ 日本語の歌を歌うことができません。
⑤ 夜、散歩します。
⑥ 日本語の小説を読みます。
⑦ 明日の夜は時間がありません。
⑧ 1 年に 1 回、日本へ旅行に行きます。

言ってみよう　本冊1 - 1

練習の様子を聞いていると、学習者は「ドラマを見る？」とイントネーションを上がり調子にすることや、「うん」「ううん」を用いるのにちょっと慣れない様子も見られます。教師が「見る？」と手を上に挙げて示すなども一つの方法ではないかと思われます。

こんなふうに

シートに名詞だけを記入し、それについて、クラスメイトに聞いていくという練習です。空欄になっているところは自分で聞きたいことを聞いてみます。

第 11 課ＳＴ３1－１

	わたし	さん	さん
テレビ			
ニュース			
本			
カラオケ			
朝ご飯			
お酒			
たばこ			

チャレンジ！

1－2

コマイラスト：マリヤムさんがよく映画を見ると知ったダニエルさんは、どんな映画を見るか、続けて聞いています。

ここの【チャレンジ！】は1-1の続きの会話になるので、1-1のコマイラストをもう一度見ながら、1-２に入っていってください。1－２では、形容詞の現在の肯定と否定の友達言葉を学びます。丁寧体では簡単にチャレンジできると思います。そのあとで、「友達ですから…」と促して、CDを聞くといいです。CDを聞いたあとで、板書して確認する際に、下記のように【チャレンジ！】のナAの肯定以外にも、イAの肯定と否定の形の確認もしてください。

A：映画が好き？	B：うん、好き。
	B：ううん、好きじゃない。
A：毎日、忙しい？	B：うん、忙しい。
	B：ううん、忙しくない。

学習項目　友達言葉

言ってみよう　別冊1-2

こんなふうに

イ形容詞とナ形容詞の練習ができるプリントを作って練習しました。

1－2　形容詞（現在）

【～です・～ます】
A：この映画はおもしろいですか。
B：はい、おもしろいです。
C：いいえ、おもしろくないです。

★【友達言葉】
A：この映画はおもしろい？
B：うん、おもしろい。
C：ううん、おもしろくない。

イ形容詞（イA）			
～です	⇒~~です~~	～くないです	⇒くない~~です~~
おもしろいです	おもしろい	おもしろくないです	おもしろくない
おいしいです		おいしくないです	
いいです			

【～です・～ます】
A：魚が好きですか。
B：はい、好きです。
C：いいえ、好きじゃありません。

★【友達言葉】
A：魚が好き？
B：うん、好き（だ）。
C：ううん、好きじゃない。

ナ形容詞（ナA）・名詞（N）			
～です	⇒~~です~~（だ）	～じゃありません	⇒じゃない
好きです	好き（だ）	好きじゃありません	好きじゃない
大変です		大変じゃありません	
風邪です		風邪じゃありません	

① このケーキは（おいしいです→　　）。
② 今日はあまり（暑くないです→　　）。
③ 今日の午後は（ひまです→　　）。
④ 私は歌が（上手じゃありません→　　）。
⑤ 来週、（テストです→　　）。
⑥ A：お酒が（好きですか→　　）？　B：うん、（　　）。
⑦ A：明日は（休みですか→　　）？　B：ううん、（　　）。

言ってみよう　本冊1-2

例は質問と答えだけで終わっていますが、これに続けて関連のあるような質問をして、会話を続けられるように促してください。例えば、

A：週末は暇？
B：ううん、暇じゃない。
A：どこかへ行く？
B：うん、アルバイトに行く。

とか、②では

A：アルバイトは大変？

B：ううん、大変じゃない。

A：楽しい？

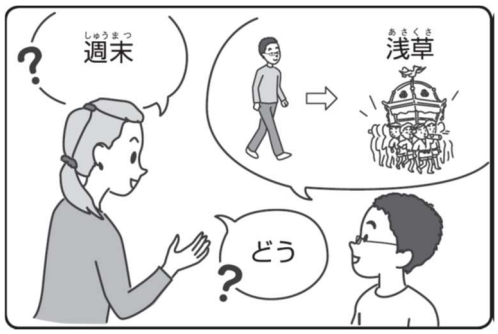
B：うん、楽しい。

のように続けられると、いいと思います。

ナ形容詞「だ」が友達言葉の話し言葉のときには付かないということに注意してください。

チャレンジ！

1－3



コマイラスト：アンナさんがナタポンさんに週末の話を聞いています。ナタポンさんは浅草へ行って、お祭りを見た話をしています。

【チャレンジ！】1－3（過去のことを友達言葉でどう話すか学びます）をするとき、友達言葉を使おうと、考え込んでしまう学習者もいるかもしれません。そんなときには、今まで習った「です・ます」で言うように促してあげたらいいと思います。そして、その中で既習のことで言える部分は、教師からもう一度、学習者に言うように促してみてください。

学習項目　友達言葉

言ってみよう　別冊1－3

別冊にあるキューにぜひプラスをしてください。練習の際、文字だけの練習だと単調になってしまうので、方法をいろいろ変えてみましょう。5 課での練習で用いたイラストなどを用いて、それを「友達言葉」で言う練習もできます。

こんなふうに

練習をしながら整理できるプリントを作成してみました。

1－３　動詞・形容詞・名詞（過去）

動詞（V）			
～ました	⇒タ形	～ませんでした	⇒なかった
食べました	食べた	食べませんでした	食べなかった
見ました		見ませんでした	
しました		しませんでした	
来ました		来ませんでした	
行きました*		行きませんでした	
会いました		会いませんでした	
ありました		ありませんでした*	

イ形容詞（イA）			
～かったです	⇒かったです	～くなかったです	⇒くなかったです
おいしかったです	おいしかった	おいしくなかったです	おいしくなかった
高かったです		高くなかったです	
よかったです		よくなかったです	

ナ形容詞（ナA）・名詞（N）			
～でした	⇒だった	～じゃありませんでした	⇒じゃなかった
暇でした	暇だった	暇じゃありませんでした	暇じゃなかった
大変でした		大変じゃありませんでした	
テストでした		テストじゃありませんでした	

① A：今朝、朝ご飯を（　　）？　B：うん、（　　）。
② A：夏休み、国へ（　　）？　B：ううん、（　　）。
③ A：昨日は（休みでしたか→　　）？B：うん、（　　）。
④ A：パーティーは（どうでしたか→　　）？B：（　　）。

言ってみよう　本冊1－３

口が慣れてきたら、教科書を見ずに、ペアの相手を変えて、次々にクラスメイトの週末の話を聞いていってみましょう。

チャレンジ！

1 - 4

状況イラストのパクさんの表情に注目してください。マルコさんが見ている雑誌に興味を示しています。

コマイラスト：パクさんはマルコさんが持っている雑誌を見たいと思って、声をかけています。

学習項目 友達言葉

言ってみよう 別冊 1 - 4

こんなふうに

口頭での練習も行いますが、このような表を見ながら自分で書き込んでいくと、今まで習ったことも思い出せて、整理できます。

1－4　いろいろな友達言葉

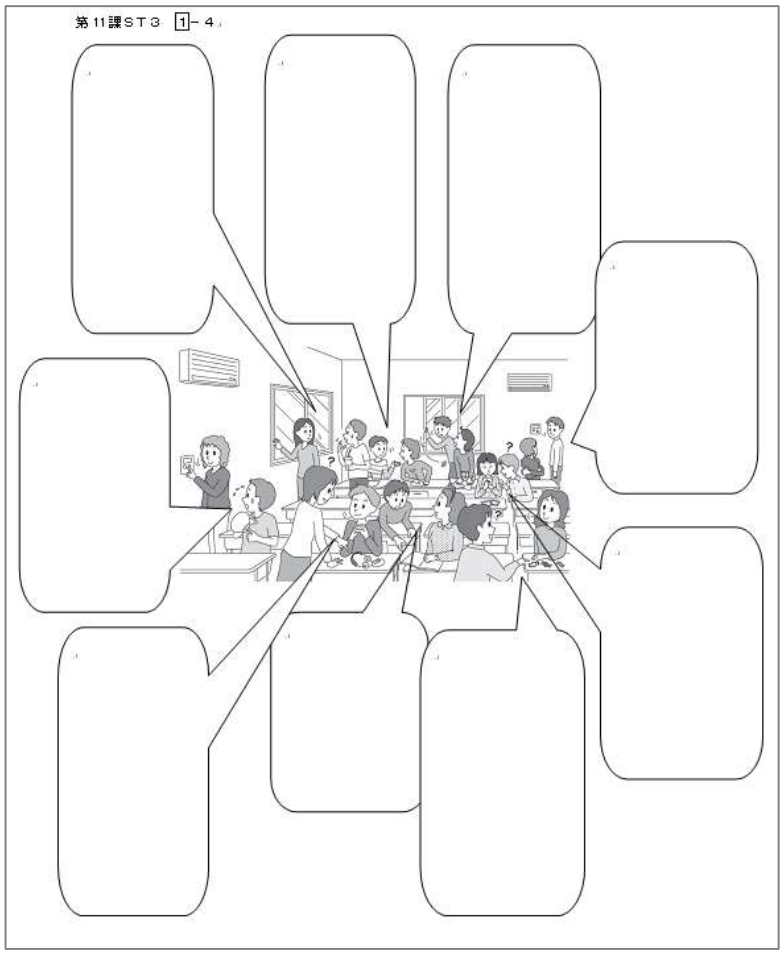
1	ケーキを食べたいです。	ケーキを＿＿＿＿＿＿
2	新しいパソコンがほしいです。	新しいパソコンが＿＿＿＿＿＿
3	一緒にご飯を食べませんか。	一緒にご飯を＿＿＿＿＿＿？
4	ＡとＢとどちらがいいですか。	ＡとＢと＿＿＿＿が＿＿＿＿？
5	中野に住んでいます。	中野に＿＿＿＿＿＿
6	消しゴムを貸してください。	消しゴムを＿＿＿＿＿＿
7	ここにゴミを捨てないでください。	ここにゴミを＿＿＿＿＿＿
8	ここに座ってもいいですか。	ここに＿＿＿＿＿＿
9	まだチケットを買っていません。	まだチケットを＿＿＿＿＿＿
11	Ａさんは上手に漢字を書くことができます	Ａさんは上手に漢字を＿＿＿＿＿＿
12	誕生日はいつですか。	誕生日は＿＿＿＿＿＿？
13	趣味は何ですか。	趣味は＿＿＿＿＿＿？
14	いいですね。	＿＿＿＿＿＿
15	そうですか。	＿＿＿＿＿＿
16	すみません。今晩はちょっと…。	＿＿＿＿＿＿、今晩はちょっと…。

言ってみよう　本冊1 - 4

ペアでの練習の前に、学習者と一緒にイラストを見てみてください。例は AB の 2 ターンのやり取りですが、練習ではオリジナルで、もっと長い会話にするようにしてもいいと思います。そうすると、実際の会話と近くなって、臨場感が出て楽しくなります。

こんなふうに

教科書のイラストに吹き出しをつけたシートを用意して、会話を言う練習の後に、吹き出しに書くようにしてみました。



チャレンジ！

1 - 5

コマイラスト：マルコさんの雑誌を見ているパクさんはスイーツ食べ放題の記事に目が行きます。マルコさんを誘っています。二人はいつスイーツ食べ放題に行くか、相談しています。

マルコさんに土曜日はどうかと提案されたパクさんが、土曜日は行けない理由を言っています。誘われたときに、その日が都合が悪いことを言う言い方（~がありますから）は 6 課 ST1 に提出されています。「あります」の友達言葉が「ある」になることは 1－1 で学習済みです。ですから、CD を聞いたあとの理解は早いと思います。ここで、「から」の前の接続が「普通形」だと紹介します。教科書の巻末 p.284 に表があります。ここで普通形の全体を学習者に見せると混乱が少なくてすむと思います。

学習項目 友達言葉

言ってみよう　別冊 1-5

ここで書くなら、「N です」と「ナ A です」の普通形は「～だ」なので、「～だから」となることに注意してください。

言ってみよう　本冊 1-5

例 1）では「いいね。」の後に、もっと長く会話が続けられると思います。学習者の発想に任せてできるだけ会話を長く考えたり、教師が何ターンまで続けるかを指定したりするといった練習ができると思います。

チャレンジ！

1 - 6

コマイラスト：日曜日にスイーツ食べ放題に行くことにした、パクさんとマルコさんはどこの店に行くかを相談しています。パクさんがおすすめの店をマルコさんに紹介しています。

1－4 から流れが続いているので、【チャレンジ！】では、ぜひ前の２つのコマから始めてください。パクさんの吹き出しにある「2500 円」はケーキ食べ放題の値段を表しています。

学習項目 友達言葉

言ってみよう 別冊1-6

言ってみよう 本冊1-6

①の２番目のＢは「少し遠いけど、きれいだよ」のように、終助詞が用いられる際、その前にあるＮとナＡには「だ」がいることも注意が必要です。

やってみよう

ここでは、友達が家に訪ねてきてから、部屋に上がってもらって、おしゃべりが始まるまでのやり取りや、どんなおしゃべりをしているかなど、会話の流れと発話の内容の両方に注目してください。実際にロールプレイをするときに使えると思っています。

CD の中にある「どうぞ、入って。」「おじゃします。」「座って。」といった表現がどんなときに使われているか、学習者に問いかけてみてください。CD 内にないことでも、友達が実際に部屋に遊びに来たことを想像してもらって、どんなことをやり取りするか考えてもらいます（例えば、飲み物を勧めるときに、「何飲む？」とか「コーヒーと紅茶とどっちがいい？」など）。

また話す内容についても、「趣味」のほかにどんなことを話すかということを教室で一緒に確認してもいいと思います。学習者からは、「アルバイト」「学校の勉強」「休みの日」など最近のちょっとした話題が出てくると思います。そういった話題をいろいろと入れて話しましょうと確認してからロールプレイをすると、スムーズに行きます。

B のロールカードに「誘う」というタスクがありますが、これはおしゃべりの中で、できたら誘って一緒にどこかに出かけるという展開になったらいいなという気持ちで入れました。「誘う」ことがゴールというわけではないので、「誘う」ことにこだわらなくてもいいです。友達言葉で身近な話題についてたくさん話せるようになってもらいたいと思っています。

■　ロールプレイをします。ＣＤのスクリプトにある最初の部分

♪♪♪

Ａ：はーい。

Ｂ：こんにちは。

Ａ：どうぞ。入って。

Ｂ：おじゃします。

ここから先を自分たちで考えるというようにしてもいいと思います。

こんなふうに

ここの【やってみよう】のタスクは、ロールプレイですが、『わたしの文法ノート』の 6 課の花（p. 40）のイラストだけを使って、友達言葉を使った会話を考えてみました。学習者たちは、以前に練習したことを思い出しながら、ペアで楽しそうに会話を考えていました。

できる！

この課の行動目標は、「自分の生活や身近な話題について友達や周りの人と話すことができる」です。

教科書の「できる！」には、「教室に日本人の大学生や高校生を呼んで、日常生活について話しましょう」とあります。教室にビジターを招いて、日本語で交流しましょう。

もちろん、教室でクラスメイトと一緒に、日本語で話すのもいいと思います。話す際には、お互いの顔が見えるように輪になって座り、リラックスした雰囲気を作りましょう。聞いている人は相手の話に関心を持ち、お互いにいろいろ話すことができたら、これは 11 課の【できる！】です。

ここに【できる！】の実践例をいくつかご紹介します。

・大学生や日本人ボランティアの方を招いて、ビジターセッションを行う。
・在校生の先輩や卒業生を招いて、ビジターセッションを行う。
・【話読聞書】で書いた「今の生活」をもとに、グループで話す。

【できる！】で「ビジターセッションをやろう！」という計画、とてもいいと思います。ただその際、気をつけていただきたいことがあります。
ビジターセッションで会う人は、初めて会うことがほとんどです。11 課で友達言葉を習ったから、これを使わなければ～～ということはありませんね。
むしろ、自己紹介などがきちんとできたほうが相手との交流がスムーズにいくと思います。1 課の自己紹介、9 課の趣味の話などもビジターセッションで生かせるといいなと思っています。

話読聞書

「今の生活」は、日本という外国で生活している学習者にとって、いろいろ言いたいことがたくさんあるテーマではないかと思います。10 課でも書きましたが、最初に教科書の例を読むのではなく、右の吹き出しを参考に、学習者に教師から質問を投げかけてみてください。最初は教室全体で、「今の生活」について話す時間を取ってみましょう。声を発さない学習者の中でも、今の自分の生活がどうかと振り返るきっかけになっていると思います。それから、グループでお互いの「今の生活」に聞き合います。授業では、話しっぱなしにするのではなく、それぞれのグループでどんな話が出たかを聞くことも、全体で共有することも大切です。宿題として、自分が話した「今の生活」を書いてくるようにすると、いいです。書く作業を通して、自分が言いたかったことなどをもう一度整理することになり、また、日本語の正確性を高めることにもなります。

こんなふうに

宿題用にこんなシートを配りました。

第 11 課

「私の生活（せいかつ）」